

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

二宮町教育委員会

1 はじめに

令和4年4月に実施された「令和4年度全国学力・学習状況調査」の二宮町立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。二宮町教育委員会では、調査結果及び課題等を公表することにより、町民の皆様をはじめ児童生徒に関わる様々な立場の方に関心をもっていただき、二宮町の学校における教育指導の充実や児童生徒の学習意欲の向上につなげていきたいと考えております。

本調査の結果は町全体のものであり、各学校や児童生徒個人の学力や学習状況を表すものではありません。また、本調査は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面の結果です。

町民の皆様におかれましては、本調査の目的及び結果公表の趣旨をご理解いただくとともに、数値結果だけを重視するのではなく教育の過程も考慮いただき、本町の児童生徒の健全育成のために公表資料を有効にご活用くださいますようお願いいたします。

2 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・以上のような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査の内容

- ・教科に関する調査（国語、算数/数学、理科）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

(3) 実施期日

令和4年4月19日（火）

(4) 調査を実施した児童生徒数

小学校 6年生 195人（3校合計）

中学校 3年生 192人（2校合計）

3 調査の結果について

(1) 教科に関する調査の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差

※ 平均正答数：児童生徒の正答数の平均。（正答数の平均／総問題数）

平均正答率：児童生徒の平均正答数を百分率で表示。ただし、小数点以下第1位の数値を公表することが、数値データによる単純な比較が行われ、序列化や過度な競争を助長する一つの要因として考え

られることから、文部科学省は都道府県別の平均正答率を整数値で公表。都道府県に対しても同様の配慮を求めていることから、二宮町の平均正答率も小数点以下第1位を切り捨てて表示。

中央値：集団のデータを大きさの順に並べたときに真ん中に位置する値。

標準偏差：集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値が全て同じ）ことを意味する。

〔小学校〕

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	8.6 問／14 問	62%	9.0 問	3.3
算数	9.6 問／16 問	60%	10.0 問	3.7
理科	10.6 問／17 問	62%	11.0 問	3.8

〔中学校〕

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	9.7 問／14 問	69%	10.0 問	2.7
数学	7.4 問／14 問	53%	8.0 問	3.6
理科	10.8 問／21 問	51%	11.0 問	3.9

（2）各教科の結果概要について

〔小学校：国語〕 本町の平均正答率は全国をやや下回っている。内容は次の通り。
 良好な状況と考えられる主な設問

○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える

知識・技能 【言葉の特徴や使い方に関する事項】 問題番号①二 選択式

○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える

思考・判断・表現 【読むこと】 問題番号②一 (1) 選択式

課題があると考えられる主な設問

○人物像や物語の全体像を具体的に想像する

思考・判断・表現 【読むこと】 問題番号②二 記述式

○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける

思考・判断・表現 【書くこと】 問題番号③二 記述式

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

知識・技能 【言葉の特徴や使い方に関する事項】 問題番号③三 短答式

〔小学校：算数〕 本町の平均正答率は全国をやや下回っている。内容は次の通り。
 良好な状況と考えられる主な設問

○被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる

知識・技能 【数と計算】 問題番号① (1) 短答式

○示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している

知識・技能 【変化と関係】 問題番号② (3) 選択式

課題があると考えられる主な設問

○百分率で表された割合を分数で表すことができる

知識・技能 【変化と関係】 問題番号 $\boxed{2}$ (1) 短答式

○図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している

知識・技能 【図形】 問題番号 $\boxed{4}$ (3) 選択式

○示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる

思考・判断・表現 【図形】 問題番号 $\boxed{4}$ (4) 選択式

〔小学校：理科〕 本町の平均正答率は全国と同程度である。内容は次の通り。

良好な状況と考えられる主な設問

○昆虫の体のつくりを理解している

知識・技能 【「生命」を柱とする領域】 問題番号 $\boxed{1}$ (3) 選択式

○メスシリンダーという器具を理解している

知識・技能 【「粒子」を柱とする領域】 問題番号 $\boxed{2}$ (1) 短答式

○自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる

思考・判断・表現 【「粒子」を柱とする領域】 問題番号 $\boxed{2}$ (3) 選択式

課題があると考えられる主な設問

○観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる

思考・判断・表現 【「生命」を柱とする領域】 問題番号 $\boxed{1}$ (5) 選択式

○問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している

知識・技能 【「エネルギー」を柱とする領域】 問題番号 $\boxed{3}$ (2) 選択式

〔中学校：国語〕 本町の平均正答率は全国と同程度である。内容は次の通り。

良好な状況と考えられる主な設問

○論理の展開などに注意して聞く

思考・判断・表現 【話すこと・聞くこと】 問題番号 $\boxed{1}$ 二 選択式

○場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する

思考・判断・表現 【読むこと】 問題番号 $\boxed{3}$ 四 記述式

○漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する

知識・技能 【我が国の言語文化に関する事項】 問題番号 $\boxed{4}$ 三 選択式

課題があると考えられる主な設問

○文脈に即して漢字を正しく書く

知識・技能 【言葉の特徴や使い方に関する事項】 問題番号 $\boxed{2}$ 二 短答式

〔中学校：数学〕 本町の平均正答率は全国をやや上回っている。内容は次の通り。

良好な状況と考えられる主な設問

○箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる

知識・技能【データの活用】 問題番号7 (2) 選択式

○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる

思考・判断・表現【関数】 問題番号8 (2) 選択式

課題があると考えられる主な設問

○一次関数の変化の割合の意味を理解している

知識・技能【関数】 問題番号4 選択式

〔中学校：理科〕 本町の平均正答率は全国をやや上回っている。内容は次の通り。

良好な状況と考えられる主な設問

○節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみる

思考・判断・表現【「生命」を柱とする領域】 問題番号4 (1) 記述式

○過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善できるかどうかをみる

思考・判断・表現【「地球」を柱とする領域】 問題番号6 (2) 選択式

○アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる

思考・判断・表現【「生命」を柱とする領域】 問題番号8 (1) 記述式

課題があると考えられる主な設問

○玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる

知識・技能【「地球」を柱とする領域】 問題番号6 (1) 選択式

課題があると考えられる設問への対応について

学校に対して、令和4年度全国学力・学習状況調査報告書（文部科学省 国立教育政策研究所 令和4年8月）に記載されている指導アイデア等も参考にして、授業の改善や指導計画に反映させていくことを求めています。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html> （国立教育政策研究所 HP）

(3) 児童生徒質問紙調査の概況について

＜生活習慣や学習環境等に関する調査結果＞（抜粋）

質問 番号	質問内容	小学校（％）			中学校（％）		
		二宮町	神奈川県	全国	二宮町	神奈川県	全国
1	朝食を毎日食べている	94.3	94.3	94.4	91.2	90.9	91.9
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	83.1	80.1	81.5	76.3	76.3	79.9
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている	89.7	89.4	90.4	91.7	90.0	92.2
7	自分には、よいところがあると思う。	80.5	79.7	79.3	79.4	78.3	78.5
9	将来の夢や目標を持っている	76.9	77.6	79.8	69.6	64.8	67.3
11	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	69.8	71.5	72.5	62.4	64.8	67.1
12	人が困っているときは、進んで助けている	85.1	88.9	88.9	90.8	87.6	88.4
13	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う	93.3	96.6	96.8	94.9	95.5	96.4
15	人の役に立つ人間になりたいと思う	92.4	94.9	95.1	95.9	94.0	95.0
16	学校に行くのは楽しいと思う	77.4	85.3	85.4	84.0	83.4	82.9
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	65.6	75.0	73.5	83.5	77.1	76.9
18	友達と協力するのは楽しいと思う	91.8	94.2	94.0	94.9	93.3	93.7
20	家で自分で計画を立てて勉強をしている	68.2	70.7	71.1	69.1	58.4	58.5
29	今住んでいる地域の行事に参加している	52.4	48.2	52.7	34.0	33.8	40.0
30	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	49.2	51.4	51.3	46.4	38.4	40.7
32	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用した（週1以上の割合）	89.8	86.7	83.2	96.4	82.9	80.6
38	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	66.7	67.6	65.4	82.4	70.7	63.3
39	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	75.4	78.8	77.3	88.2	79.9	79.2
43	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	80.5	80.2	80.1	87.1	76.7	78.7
45	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	75.4	73.7	72.7	92.8	74.5	72.1
46	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	59.0	72.4	73.5	84.0	76.8	76.8
48	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	78.4	78.9	80.0	94.9	83.3	85.5

※数値には、「どちらかといえばしている、どちらかといえば当てはまる」の回答を含む

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」など基本的な生活習慣は小・中学生共にほぼ県・全国の割合と変わらなく良好といえます。今後も、学校と家庭と地域が連携・協力して子どもたちの生活を見守り、健全な成長につなげていくことが大切です。

「学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的に回答した小学生の割合は県・全国よりも下回り、中学生は上回っています。友人関係、学習のことなど否定的な回答の理由には様々あると考えられます。今後も子どもたち一人ひとりの思いに寄り添った対応に努めるとともに魅力ある学校づくりを進めていく必要があります。

「5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」「5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の3つの質問について肯定的に回答した小学生の割合は、県・全国と変わりません。中学生の回答は県・全国よりも大きく上回っています。これらの質問は、令和4年度全国学力・学習状況調査報告書 質問紙調査（文部科学省 国立教育政策研究所 令和4年8月）にて、学力との関連も指摘されていることから、今後も主体的・対話的で深い学びの視点から、授業改善に努めていく必要があります。

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」に肯定的に回答した小学生の割合は県・全国を下回り、中学生の割合は上回っています。協働的な活動や対話的な活動を通して、自分の考えを再構築し、新たな考えを生み出したりすることは、これからの時代を生きるために必要な資質・能力の一つです。多様な考えに触れ、自己の考えを広げ、深めるための学習活動を今後も大切にしていきます。

「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した中学生の割合は県・全国と比較して大幅に上回っています。また、平日学校の授業以外に2時間以上勉強していると回答した生徒の割合も全国より上回っています。計画的に勉強しようとする姿が身に付いていると思われれます。小学生も自分で計画を立て自主的に勉強する姿勢を育んでいくことが求められます。

「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した中学生の割合は県・全国と比較して下回っています。県・全国の傾向と同じですが、中学生の地域行事への参加は小学生のそれと比べて大きく減少しています。中学生は部活動等で地域の行事に参加したくても参加できないことも考えられますが、発達段階も考慮しながら地域の一員としての自覚を育むことが望まれます。

PC・タブレットなどのICT機器の使用状況について、週1回以上の利用が小中学校ともに昨年度より大幅に向上しました。ICTを活用した学習が日常化してきています。今後は、思考力・判断力・表現力を育成していくために、調べ学習だけでなく、意見交換やまとめ・発表する場面での活用をさらに進めていきます。

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した中学生の割合は県・全国より大幅に上回っています。引き続き、課題を自分事としてとらえ、主体的に課題解決していく探求のプロセスを大切に

していきます。

「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した小学生の割合は県・全国を大きく下回っています。今後も多様な意見を尊重し、合意形成を図る力を育成するための対話的な活動に取り組んでいきます。

「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した中学生の割合は県・全国より上回っています。道徳だけでなくすべての教育活動において主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくりを目指していきます。

小学校国語の「解答時間は十分でしたか」の質問に対して、「やや足りなかった」「全く足りなかった」と解答する児童が過半数いました。このことは前回（令和3年度実施）前々回（令和元年実施）のときも同じ傾向が見られました。設問の後半に無解答が多かったこととも関係していると考えられます。国語において問題を解く時間が足りなかった要因がどこにあるのか探り改善を図っていく必要があります。

4 今後に向けて

二宮町教育委員会では、本調査の結果の分析を行い、その結果を各学校に示しました。各学校では課題をあきらかにして授業改善や学校経営に反映させています。

今後も、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努め、より効果的なカリキュラムマネジメントが行われるよう教育委員会は各学校を支援していきます。

本調査を通じて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、地域社会との関わりは学力向上及び児童生徒の健全育成に大切であることを改めて確認いたしました。二宮町教育委員会では、令和5年度より施設分離型小中一貫教育を開始します。小・中学校が9年間を見据え共通性と一貫性のある指導支援に取り組んでいきます。また、二宮町内のすべての小・中学校がコミュニティ・スクールになっています。コミュニティ・スクールとして学校、家庭、地域との協働をより一層充実させて効果的な教育活動を進めてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。